

2008年1月30日

三菱化学メディエンス株式会社

子会社の吸収合併のお知らせ

三菱化学メディエンス株式会社(東京都港区: 社長 吉富敏彦 以下三菱化学メディエンス)は100%子会社で連結決算対象会社である株式会社日本細胞病理ラボラトリー(東京都板橋区: 社長 上遠野延行 以下日本細胞病理ラボラトリー)を、2008年4月1日をもって吸収合併することといたしましたのでお知らせいたします。

三菱化学メディエンスは、臨床検査の一分野である病理・細胞診検査を行う日本細胞病理ラボラトリーを診断検査事業に取り込むことにより、業務の効率化を図り、経営基盤を一層強化していくことといたしました。合併後は、三菱化学メディエンスが診断検査事業本部内に病理・細胞診センターを新設し、日本細胞病理ラボラトリーの全ての業務を承継します。

[2社の概要]

三菱化学メディエンス株式会社

本 社 : 東京都港区芝浦四丁目2番8号
代 表 者 : 代表取締役社長 吉富 敏彦(よしとみ としひこ)
資 本 金 : 30億円
主な株主 : 三菱化学株式会社 99.3%
従業員数 : 3400人(2007年4月1日現在)
事業内容 : 体外診断薬・機器の開発・販売及び輸出、臨床検査、医薬品開発支援サービス等

株式会社日本細胞病理ラボラトリー

本 社 : 東京都板橋区小豆沢四丁目25番11号
代 表 者 : 代表取締役社長 上遠野 延行(かどおの のぶゆき)
資 本 金 : 20百万円
主な株主 : 三菱化学メディエンス株式会社 100%
従業員数 : 49名(2007年4月1日現在)
事業内容 : 病理・細胞診検査の受託